

問1 中部地方のある県の統計において、人口が約八十五万人と比較的少なく、農業産出額に占める果物の割合が野菜や米を大きく上回っている県があります。この県の農業の特色について説明したものととして正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 高冷地でのレタスやキャベツの栽培が中心で、保冷トラックを用いて大消費地へ出荷している。 | 2. 日照時間が長い沿岸部の傾斜地を利用して、茶の栽培が盛んに行われ、全国的なブランドとなっている。 | 3. 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。 | 4. シラス台地が広がる地形を活かして、さつまいもの生産や畜産業が大規模に行われている。 |
|--|--|---|--|

問2 近代日本の長野県において、製糸業が地域の主要な産業として発展した背景や地理的要因を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 外国から輸入した安価な綿花を加工し、大量の綿織物を輸出するための大規模な工場が集まったから。 | 2. 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。 | 3. 鉄道網の整備により、日本海側から運ばれる石炭を燃料とした重化学工業が内陸部で発展したから。 | 4. 冷涼な気候を利用した茶の栽培が盛んになり、輸出用の茶葉を加工する拠点として発達したから。 |
|---|---|--|---|

問3 石川県の伝統的工芸品である「九谷焼」と「輪島塗」の特徴について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 九谷焼は鉄を主原料とした重厚な鋳物であり、輪島塗は和紙を何層にも重ねて作られる和傘である。 | 2. 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。 | 3. 九谷焼は薄く透明感のあるガラス細工であり、輪島塗は竹を細かく編み込んで作られる丈夫な容器である。 | 4. 九谷焼は木目を生かした幾何学的な模様が特徴の木工品であり、輪島塗は熱帯の気候に適した通気性の良い織物である。 |
|--|---|---|---|

問4 ぶどうの生産量が全国1位である県について、その地理的な特徴や農業の様子として最も適当なものはどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 日本海側に位置し、広大な平野で水田単作が行われている | 2. 内陸部に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである | 3. 内陸部に位置し、高冷地でのレタスなどの抑制栽培が盛んである | 4. 太平洋側に位置し、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|

問5 名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|---------|------------|-----------|
| 1. 窯業・土石製品工業 | 2. 食品工業 | 3. パルプ・紙工業 | 4. 非鉄金属工業 |
|--------------|---------|------------|-----------|

問6 岐阜県の白川郷や富山県の五箇山で見られる、厚い茅葺き屋根を急な角度で組み合わせた「合掌造り」と呼ばれる伝統的な民家は、この地域のどのような自然環境に対応するために作られましたか。最も適切な理由を選びなさい。 (2017年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|-------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 冬の積雪の重みによって家屋が倒壊するのを防ぎ、雪下ろしの負担を軽減するため | 2. 夏に発生する激しい上昇気流による雨が、屋根に溜まって腐食するのを防ぐため | 3. 火山灰が屋根に堆積して家が押しつぶされるのを防ぐため | 4. 台風による強風の圧力を受け流し、屋根が吹き飛ばされるのを防ぐため |
|--|---|-------------------------------|-------------------------------------|

問7 日本屈指の穀倉地帯として知られるある県の農業について、統計資料における農業産出額の内訳を確認すると、その過半数を「米」が占めており、野菜や畜産、果実の割合が全国平均と比較して相対的に低いという特徴があります。この県として最も適切なものはどれですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 和歌山県 | 3. 愛知県 | 4. 新潟県 |
|--------|---------|--------|--------|

問8 三重県に位置するある重要港湾は、統計上、輸出額が東京港に次ぐ規模に達しています。この港の輸出特性として、輸出品全体の約4分の1を自動車が占め、さらに半導体等製造装置や集積回路、タイヤなどの工業製品を主に中国や韓国へ輸出しているという特徴があります。この港の名称として正しいものを選んでください。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 北九州港 | 2. 神戸港 | 3. 四日市港 | 4. 名古屋港 |
|---------|--------|---------|---------|

問9 日本最長の河川である信濃川の名称の由来や特徴について説明したものととして、最も適切な内容を選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 流域面積が日本で最も広く、関東地方から新潟県へと流れている。 | 2. かつての令制国名である信濃国に由来し、長野県内では千曲川と呼ばれている。 | 3. 新潟県にある山脈を水源とし、山形県を経て日本海へと注いでいる。 | 4. フォッサマグナの西端に沿って流れ、静岡県で太平洋に注いでいる。 |
|-----------------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|

問10 中部地方の都市の統計において、年平均気温が15.8度と最も高く、6月や9月に降水量のピークが見られる都市と、周囲を山に囲まれているため月ごとの降水量が少なく、年間降水量が1000mmを下回る都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 1. 前者は長野市、後者は新潟市 | 2. 前者は名古屋市、後者は長野市 | 3. 前者は新潟市、後者は長野市 | 4. 前者は名古屋市、後者は新潟市 |
|------------------|-------------------|------------------|-------------------|

問11 北陸地方の福井県などは、12月から2月にかけての降水量（降雪量）が非常に多く、気温も低いため、冬の間に屋外で農作業を行うことが困難でした。このような気候的制約があった地域において、現在の地場産業や伝統工芸が発展した歴史的経緯として最も適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 太平洋側の都市部から技術者が移住し、冬の期間に農民へ工業技術を教えるための職業訓練校が各地に設立された。 | 2. 冬の積雪を冷熱エネルギーとして活用する技術が発達し、それを利用した大規模な食品加工業が地域の主要産業となった。 | 3. 冬の間の副業として室内で行う家内工業が盛んになり、それが眼鏡フレーム製造などの高度な技術を要する産業へと発展した。 | 4. 雪解け水を利用した水力発電が早期に普及したため、冬の間だけ稼働する大規模な機械工場が農村部に次々と建設された。 |
|---|--|--|--|

問12 中部地方を、太平洋に面した東海、内陸の中央高地、そして日本海側の北陸という3つの地域に区分したとき、北陸地方における気候と農業の特色について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 冬の豊富な降雪が春の豊かな雪解け水となり、それを利用した大規模な稲作が行われている。 | 2. 年間を通じて降水量が少なく、気温の年較差が大きいので、ブドウや桃などの果樹栽培が中心である。 | 3. 冬でも温暖な気候を活かして、キャベツなどの野菜の促成栽培が盛んに行われている。 | 4. 平地が少ないため、扇状地を利用して茶やミカンの栽培が大規模に行われている。 |
|---|---|--|--|